

活動名称

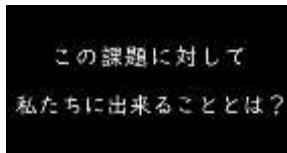
防空壕保存プロジェクト

三重県立久居農林高等学校 放送部

戦後、長い年月が経ち、戦争体験者の高齢化が進み、戦争の記憶を受け継ぐことが難しくなっている現状があります。「これからは戦争を物語るのは人からモノになる」との教えにより校内に残る防空壕を保存しようと、放送部の生徒の皆さんを中心に校内の生徒たちが力を合わせて、防空壕保存プロジェクトを実行されました。



戦争体験者の減少



この課題に対して
私たちに出来ることは？



令和元年11月、校内で「保存プロジェクト」立ち上げ



整備前



整備後



奥行きは約7メートル、高さは約1.3m
で、天井が低く、大人が10人は入れるか
どうかの大きさです。



ガーデニングコースによる遊歩道の整備



環境保全コースによる看板製作



防空壕の整備終了



～活動を振り返ってのひと言～

防空壕の中に入るとかなり圧迫感があり、このような穴に実際に入った昔の人びとの気持ちを思うと心が痛みます。二度と戦争を起こしてはいけません。平和な日常がいつまでも続きますように。今回保存した防空壕は、これからも静かに戦争を語り続けてくれるはずですよ。